

厚木基地に起因する市民負担の解消などを要請

大和市基地対策協議会が 要請活動を実施

市民、議会、行政の代表者で組織される大和市基地対策協議会(会長:大木哲市長)は、8月19日、駐日米国大使館、総務省、外務省、防衛省を訪問し、「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

要望書では、空母艦載機の着陸訓練(FCLP)を決して厚木基地で実施しないことや航空機の安全対策・騒音対策の徹底、住宅防音工事助成事業など基地周辺対策の拡充や基地交付金等の見直しなどを求めています。



外務省で佐藤外務副大臣(右から4人目)に要請活動をする同協議会の代表

――安全保障政策課長は「空母艦載機の着陸訓練が厚木基地で実施されないよう、引き続きあらゆる手段を尽くす。恒常的な空母艦載機着陸訓練施設の整備に向け、引き続き日本政府への働きかけなど、地元自治体と協力していきたい」などと述べました。



防衛省で原田防衛副大臣(奥)に要請活動をする同協議会の代表

総務省の開出英之自治税務局長は「基地が所在する市町村の実情等を十分踏まえ、基地交付金等の所要額確保と適正な交付額の算定に努めていく」などと回答しました。

外務省の佐藤正久外務副大臣は「今後も米側に対して、航空機の安全性の確保や、米軍人等による事件・事故の防止を引き続き求めていく」などと回答しました。

防衛省の原田憲治防衛副大臣は「空母艦載機の着陸訓練を、できる限り硫黄島で実施するよう米側に求めるとともに、恒久的な空母艦載機着陸訓練施設の早期整備に取り組んでい

きたい。厚木基地周辺の騒音軽減に最大限努めるとともに、航空機の安全対策に万全を期すよう米側に求めていく。住宅防音工事助成事業や補助・交付金などの基地周辺対策では、厳しい財政状況の中、地元自治体の意見・要望を十分伺い、適切に対応していきたい」などと回答しました。

航空機の騒音被害や事故への不安、街づくりの支障など、厚木基地に起因するさまざまな問題が生じています。大和市基地対策協議会は、今後こうした諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。

『西洋美術を楽しもう!』美術作品と音楽でたどるクリスマスの物語〜キリスト教美術入門編』を開催

健康都市大学で西洋美術に関する講座を開催。絵画やクリスマスの物語に込められた「クリスマスの物語」を西洋美術の作品の中から探っていきます。北里大学非常勤講師であり、健康都市大学市民講師としても活躍する星聖子氏が解説します。

日午前10時〜11時30分(全4回) ところ▼渋谷学習センター

対象/定員▼市内在住・在勤・在学者/先着30人

申し込み▼10月7日(月)から、直接または電話でシリウス内図書・学び交流課へ。住所、氏名、電話番号を記載し、ファクスも可。

内容▼第1回「西洋美術に登場する象徴」、第2回「受胎告知〜降誕」、第3回「羊飼いの礼拝〜エジプト逃避」、第4回「キリストの幼年時代」とき▼11月6日〜27日の毎週水曜

シリウス内図書・学び交流課へ
び交流係 ☎(259)6104 FAX(263)6680

市役所基地対策課基地対策係
(260)5310 FAX(260)5316